

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(青森県 平成22年度)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分①(対象作物・畜種等名)①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	作物等区分②(対象作物・畜種等名)②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考																				
							計画時(平成19年)	1年後(平成20年)	2年後(平成21年)	3年後(平成22年)	目標値(平成22年)	達成率					計画時(平成19年)	1年後(平成20年)	2年後(平成21年)	3年後(平成22年)	目標値(平成22年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他																								
																																		交付金	都道府県費	市町村費	その他																
弘前市	(有)イーエム総合ネット弘前	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	果樹(りんご)	需要に応じた生産量の確保	【果樹】(果樹の需要に応じた生産量の確保に関する目標)全出荷量のうち内部品質に応じて出荷する割合が100%	0%	100%	100%	100%	100%	100%	100.0%	内部品質に応じた出荷比率は100%を達成した。												398,884,500	189,945,000				208,939,500	H20.5.15	内部品質センサー付選果機及び氷温冷蔵施設の導入により、品質保証された安全・安心な商品を提供することができた。	内部品質を保証することで市場での評価が高まり、販売戦略を優位に進めることができたため、選果機、冷蔵施設の導入効果は高いものと評価する。																			
弘前市	(株)青研	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	果樹(りんご)	需要に応じた生産量の確保	【果樹】(販売金額の増加に関する目標)事業対象品目の産出額又は販売金額を生果で39.1%、ジュースで24.4%増加(全体で29.9%増加)	りんご販売額207,673千円	りんご販売額0千円	りんご販売額214,242千円	りんご販売額213,277千円	りんご販売額288,791千円	ジュース販売額339,885千円	ジュース販売額356,088千円	ジュース販売額620,217千円	ジュース販売額774,884千円	ジュース販売額422,715千円	合計647,558千円	356,088千円	834,459千円	988,161千円	711,506千円	6.9%	販売額合計は80.5%増加し、目標を達成した。しかしながら、生果については、選果量が増加しているものの、販売価格が下がったため、販売額は2.7%の増加にとどまり、目標を達成できなかった。ジュースについては、品質の評価が高まり、販売額は128%増加し、目標を達成した。	果樹(りんご)	需要に応じた生産量の確保	【果樹】(農畜産物販路拡大)海外を含む販路拡大のうち、海外に向けた販路拡大に係る出荷量又は出荷額を生果で131.8%、ジュースで335.6%増加(全体で141.9%増加)	りんご輸出額35,363千円	りんご輸出額0千円	りんご輸出額30,602千円	りんご輸出額33,799千円	りんご輸出額81,965千円	りんご輸出額1,841千円	ジュース輸出額3,582千円	ジュース輸出額10,902千円	ジュース輸出額11,604千円	ジュース輸出額8,020千円	合計37,204千円	3,582千円	41,504千円	45,403千円	89,985千円	-3.4%	輸出合計では22.0%の増加にとどまり、目標を達成できなかった。生果では円高などの要因で、輸出額は4.4%減少し、目標を達成できなかった。一方、ジュースは品質の評価が高まり、輸出額は530.3%増加し、目標を達成した。	集出荷貯蔵施設CA冷蔵庫206t 普通冷蔵庫461t りんご用カラー内部品質センサー付き選果機1条1基 農産物処理加工施設ジュース加工機械 処理量2,100t	597,541,350	284,543,000			312,998,350	H21.3.23	事業導入前に比べ、生果自体の販売額については、若干の増加に止まったものの、ジュースについては、販売額が2.3倍、輸出額が6.3倍と大幅に増加した。ジュースの評価が高く、それによって生果の取引が始まるといった相乗効果も見られた。成果目標が達成されなかったのは、販売額では生果の販売単価が計画時に比べ大幅に低下したためであり、生果の輸出額は、本県のりんご輸出量の大部分を占める台湾において、チリ産りんごの在庫が多かったこと、円高によって販売価格の折り合いがつかなかったことなどが原因である。販売額の向上に向けては、内部品質センサーを活用して販売を開始した「岩木山特産りんご」を贈答用として新規顧客の拡大に努めるとともに、販売単価の高いネット販売での受注増加を図る。また、生果の輸出先を台湾だけでなく、中国への拡大を検討するとともに、輸出先の信頼確保のため、自社農場でJGAPを取得し、これを会員農家にも拡大していく。	内部品質センサー選果機やジュース加工機械等の導入により、生果については、小売等からのクレームが大幅に少なくなり、また、ジュースについては、品質等が認められ、取引量が大幅に増えていることから、事業の導入効果は高いものと評価する。成果目標が達成されなかったのは、販売額では生果で販売単価が計画時に比べ大幅に低下したためであり、また、生果の輸出額は本県のりんご輸出量の大部分を占める台湾において、チリ産りんごの在庫が多かったこと、円高によって販売価格の折り合いがつかなかったことなどが原因である。成果目標が達成されていない項目については、事業主体に対して、対応策をきちんと実施していくよう指導等を行っている。	
平川市	西野留江地区田植機利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	燃油の使用量の低減30.8%以上	0.81L/10a	0.81L/10a	0.55L/10a	0.56L/10a	0.56L/10a	100%	燃料の使用量が30.9%低減し、目標を達成した。	土地利用型作物(水稲)	生産性の向上	労働時間の増加割合を-1.6%以下に抑制	18.1hr/10a	18.1hr/10a	17.8hr/10a	17.6hr/10a	17.8hr/10a	109.5%	労働時間が2.8%削減され、目標を達成した。	高速田植機8条植(ディーゼル)1台	3,654,000	1,160,000			2,494,000	H21.3.31	省エネマニュアルの遵守により目標を達成した。また、労働時間を抑制することができ、成果目標を達成した。	省エネマニュアルに基づき作業を実践した結果、燃油の使用量及び労働時間が削減され、目標を達成できた。また、田植機の導入によりオペレーターの作業量が軽減したほか、施肥等の作業も同時にできることから作業全般の短縮が図られた。																					

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分①(対象作物・畜種等名)①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	作物等区分②(対象作物・畜種等名)②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
							計画時(平成19年)	1年後(平成20年)	2年後(平成21年)	3年後(平成22年)	目標値(平成22年)	達成率					計画時(平成19年)	1年後(平成20年)	2年後(平成21年)	3年後(平成22年)	目標値(平成22年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他					
藤崎町	つがるみらい農業協同組合	産地競争力の強化	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	輸入急増野菜(にんじんにく)	輸入急増野菜(にんじんにく)	全出荷量に占めるブランド品の割合を82.4ポイント増加	0.0%	75.1%	78.1%	93.9%	82.4%	114.0%	ブランド品の割合が93.9%となり、目標を達成した。	輸入急増野菜(にんじんにく)	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	全出荷量のうち契約取引割合を25.3ポイント増加	13.1%	19.6%	26.1%	24.1%	38.4%	43.5%	高温による収量減・品質低下で契約取引先に十分な量を供給できなかったため目標を1.4ポイント下回った。	共同利用施設集出荷貯蔵施設(水溫貯蔵施設)、8.68m×13.4m×H6.3m×2室 ハイマストタイプフォークリフト 2t	48,856,500	23,265,000			25,591,500	H20.8.1	水溫貯蔵施設の導入により高鮮度保持が可能となり、「ときわにんにく」のブランドで市場評価が向上している。 全出荷量に占めるブランド品の割合は成果目標を達成できなかった。これは、例年ない夏季の高温による影響で、①りん片の肥大が阻害され大玉の収穫割合が減少、②土壌水分バランスの崩れから発生する裂球による品質低下、③病害虫の発生による品質低下等の要因により、全体的に収穫量が減少したほか、契約取引の対象となる規格の収穫量を確保できなかったことによる。 このため、夏季の高温等の天候に左右されない栽培技術の一層の向上を図るため、栽培講習会及び巡回指導の回数を増加させるなど、県及び町とも連携を図りながら、施肥・防除技術、高温対策、病害虫防除等の技術指導の徹底を図り、契約取引先を要望に対応した供給体制の確立に努めているところである。 また、契約取引を希望する業者が増えていることから、産地に見合う取引条件の契約取引先を選定し、契約取引割合の向上を図る。	水溫貯蔵施設の導入により高鮮度保持が可能となり、「ときわにんにく」のブランドで市場評価が向上している。 全出荷量に占めるブランド品の割合は成果目標を達成したものの、契約取引割合は成果目標を達成できなかった。これは、例年ない夏季の高温による影響で、①りん片の肥大が阻害され大玉の収穫割合が減少、②土壌水分バランスの崩れから発生する裂球による品質低下、③病害虫の発生による品質低下等の要因により、全体的に収穫量が減少したほか、契約取引の対象となる規格の収穫量を確保できなかったことによる。 このため、夏季の高温等の天候に左右されない栽培技術の一層の向上を図るため、栽培講習会及び巡回指導の回数を増加させるなど、施肥・防除技術、高温対策、病害虫防除等の技術指導の徹底を図り、契約取引先を要望に対応した供給体制の確立に努めるよう指導する。 また、契約取引を希望する業者が増えていることから、産地に見合う取引条件の契約取引先を選定するよう指導する。		
十和田市	上北農産加工農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(大豆)	需要に応じた生産量の確保	大豆の契約栽培面積割合が40%以上かつ実施前より55ポイント向上						23.6%	タレの販売は伸びているが、醤油の販売量が伸び悩んでいるため、目標を42ポイント下回った。	土地利用型作物(麦)	品質向上	契約生産奨励金のAランクの評価数量割合が事業実施前を2.1ポイント上回る。	61%	91%	99%	59%	82%	-9.5%	平成20年・21年は目標をクリアしたが、平成22年は収穫時の降雨により品質が低下し、目標を23ポイント下回った。	農産物処理加工施設 1ヶ所 4666㎡	1,437,450,000	684,500,000			752,950,000	H21.3.19	大豆については、生揚使用割合の多い醤油の販売が伸び悩んでいることから目標を達成できなかった。今後は、醤油の販路拡大や新商品開発を進める。 小麦については、20年と21年は目標を達成したが、22年は収穫期の降雨により目標を達成できなかった。今後は適期刈取りを徹底する。	大豆については、タレの販売は順調であるが、生揚使用割合の多い醤油の販売が伸び悩んでいることから目標を達成できなかった。今後は、醤油の販路拡大や新商品開発を指導する。 小麦については、20年と21年は目標を達成したが、22年は収穫期の降雨により目標を達成できなかった。今後は適期刈取りを指導する。		
十和田市	六日町田圃共同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	燃油の使用量の低減 33.9%以上	0.53L/10a	-	0.50L/10a	0.49L/10a	0.35L/10a	22.2%	目標は達成されなかったものの、燃油消費量は7.5%低減した。												田圃機(8条)ディーゼル 1台	3,600,000	1,142,000		2,458,000	H21.3.23	作業を急いだためエンジン回転数が高めに推移し、省燃費につながらなかった。また、ほ場が分散しており、ほ場間の移動を自走することが多かったため、燃費効率が思うように上がらなかった。 今後は、適正なエンジン回転数での作業に努めるほか、ほ場間の移動はできるだけトラクタ等による移動を行うなど、省エネマニュアルの実践を徹底する。	燃料消費量は減少しているものの、不適正エンジン回転数での作業や自走によるほ場間の移動などにより目標を達成できなかった。 今後は、適正なエンジン回転数での作業やトラクタ等によるほ場間の移動を徹底するよう指導する。		
おいらせ町	十和田おいらせ農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	野菜(だいこん)	生産性の向上	低コスト化 10a当たり労働時間を43.75%以上縮減	48hr	0hr	41.5hr	38hr	27hr	47.6%	夏季の高温の影響により、病害虫等による奇形や腐りが多発し、洗浄選別のうち品質規格を決定する作業について通常より厳密に作業する必要が生じた。 当該作業は洗浄ライン上で作業員により実施されており、厳密な作業を行うことにより洗浄ラインが停滞し、多くの時間を要した。 結果として、目標は達成できなかったものの、その他の作業では労働時間の縮減につながったことから、労働時間は10時間短縮された。	野菜(だいこん)	品質向上	上位規格品の割合を13ポイント以上増加	A品率 84%	A品率 0%	A品率 90.8%	A品率 94.6%	A品率 97%	81.5%	夏季の高温の影響により奇形や腐りが発生したことから、目標は達成できなかったが、上位規格品の割合が10.6ポイント向上した。	共同利用機械整備 大塚 収穫機(3hr/10a) 4台 共同利用施設 洗浄選別施設(30t/日)一式	156,975,000	71,083,000			85,892,000	H21.3.27	例年ない夏季の高温の影響により、病害虫や生理障害による奇形や腐りが多発したため上位規格品の目標は達成できなかった。 また、収穫機の導入による掘り取り作業時間の短縮が図られたものの、奇形や腐りが多発したことで、洗浄選別のうち品質規格を決定する作業について機械選別に加え作業員による目視での厳密な選別作業が必要となった。当該作業は洗浄ライン上で作業員により実施されており、多くの時間を要したことから、低コスト化の目標を達成できなかった。 奇形や腐りの発生が洗浄選別施設の導入効果を抑制したことから、成果目標の達成に向けて産地におけるH22夏季の高温等の影響を緩和する栽培技術の定着を図るため、栽培講習会、現地巡回指導において、県普及指導員等と連携しながら、病害虫発生予防に基づく予防防除、多発病害虫の薬剤選択・散布方法、生理障害の予防対策について農家指導を徹底し、奇形や腐りの発生を防ぐ。	例年ない夏季の高温の影響により、病害虫や生理障害による奇形や腐りが多発したため上位規格品の目標は達成できなかった。 また、収穫機の導入による掘り取り作業時間の短縮が図られたものの、奇形や腐りが多発したことで、洗浄選別のうち品質規格を決定する作業について機械選別に加え作業員による目視での厳密な選別作業が必要となった。当該作業は洗浄ライン上で作業員により実施されており、多くの時間を要したことから、低コスト化の目標を達成できなかった。 奇形や腐りの発生が洗浄選別施設の導入効果を抑制したことから、成果目標の達成に向けて産地におけるH22夏季の高温等の影響を緩和する栽培技術の定着を図るため、栽培講習会、現地巡回指導において、病害虫発生予防に基づく予防防除、多発病害虫の薬剤選択・散布方法、生理障害の予防対策について農家指導を徹底するよう農協を指導する。		

都道府県平均達成率	100.2	%	総合所見	<ul style="list-style-type: none"> ・弘前市(稲いぬも総合ネット弘前)では、目標どおり内部品質を保證することで市場での評価が高まり、販売戦略を機位に進めることができた。 ・弘前市(熊青研)では、りんご販売額及びりんご輸出入額が目標に達しなかった。原因は青果の販売価格が下落したこと及び円高による販売価格の不調による。今後は単価の高い贈答用やネット販売に取り組み、新たに中国への輸出を検討するよう指導する。 ・平川市(西野曾江地区田圃機利用組合)では、省エネマニュアルに基づいて作業をした結果、燃油使用量及び労働時間が目標以上に削減され、作業全般の短縮ができた。 ・藤崎町(つがるみらい農協)では、契約取引割合が目標に達しなかった。原因は例年ない夏季の高温による減収及び品質低下による。今後は高温に左右されない栽培技術の一層の向上を図るため講習会及び巡回の回数を増やす等の指導を行う。 ・十和田市(上北農産加工農協)では、大豆の契約栽培面積割合が目標に達しなかった。原因は大豆の使用割合の高い醤油販売の伸び悩み及び収穫期の降雨による品質低下である。今後は醤油の販路拡大や小麦の適期刈取りを指導する。 ・十和田市(六日町田圃共同組合)では、燃油の使用量の低減が目標に達しなかった。原因は、エンジンの高回転での使用やほ場間を自走したことによる。今後は省エネマニュアルの実践を指導する。 ・おいらせ町(十和田おいらせ農協)では、労働時間の縮減及び上位規格品の割合が目標に達しなかった。原因は例年ない高温による品質低下とそれに伴う選別作業量の増加である。今後は高温に左右されない栽培技術の一層の向上を図るため講習会及び巡回の回数を増やす等の指導を行う。
-----------	-------	---	------	---

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分① (対象作物・畜種等名)①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	作物等区分② (対象作物・畜種等名)②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
							計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)	達成率					計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
青森市	全国農業協同組合連合会青森県本部	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	環境保全	農畜産業の環境保全	▼【環境保全】 ▼(環境保全型農業に取り組む農業者の増加に関する目標) ▼事業の受益農家に係る販売農家に占める環境保全型農業に取り組む農業者(伝統農業法に基づく認定、有機JAS認定又は特別栽培農産物その他の環境負荷を低減する方法により栽培される農産物の認証を受けている農業者)の割合を1ポイント以上増加	25.2% (受益販売農家 45,968戸中に占める環境保全型農業に取り組む農業者11,604戸の割合)	24.2% (受益販売農家 45,968戸現況11,252戸)	24.9% (受益販売農家 45,968戸現況11,481戸)	25.6% (受益販売農家 45,968戸現況11,771戸)	45.7% (受益販売農家 45,968戸現況21,040戸)	1.9%	環境にやさしい農業の取組戸数は伸び悩んでおり、目標に到達できなかったが、土壌分析点数は3年間で約17,000点と年間計画の5,140点を上回っている。	環境保全	農畜産業の環境保全	▼【環境保全】 ▼(環境保全型農業に取り組む面積の増加に関する目標) ▼事業の受益農家に係る販売農家の経営面積のうち環境保全型農業に取り組む面積(伝統農業法に基づく認定、有機JAS認定又は特別栽培農産物その他の環境負荷を低減する方法により栽培される農産物の認証を受けている面積)の割合を1ポイント以上増加	17.5% (経営面積 67,225ha中に占める環境保全型農業に取り組む面積 11,767haの割合)	18.5% (受益面積 67,225ha現況12,460ha)	19.5% (受益面積 67,225ha現況13,116ha)	18.8% (受益面積 67,225ha現況12,686ha)	34.1% (受益面積 67,225ha現況22,953ha)	7.8%	環境にやさしい農業の取組戸数は伸び悩んでおり、目標に到達できなかった。	土壌分析機器一式	83,254,500	39,645,000			43,609,500	H20.12.25	エコファーマーや青森クリーンライスなどの取組戸数が見えづらく、環境農業の取組戸数は伸び悩んでいるが、取組面積は微増している。環境保全型農業の取組を進めるため、土壌分析に基づく適正施肥の推進が重要であり、土壌分析の点数は、3年間で約17,000点と年間計画の5,140点を上回っている。	エコファーマーや青森クリーンライスなどの環境にやさしい農業の取組戸数及び取組面積は伸び悩んでいるが、県が推進している健康な土づくりに取り組む農業者の戸数は増加傾向にあり、土壌診断の活用を今後一層進めながら、環境にやさしい農業の拡大を推進する。	

都道府県平均達成率	4.9	%	総合所見	<ul style="list-style-type: none"> ・目標年度が平成22年度となっている青森市(全国農業協同組合連合会青森県本部)では、目標値を達成していない。 ・今後の対応として、エコファーマーや青森クリーンライスなどの環境にやさしい農業の取組戸数及び取組面積は伸び悩んでいるが、県が推進している健康な土づくりに取り組む農業者の戸数は増加傾向にあり、土壌診断の活用を今後一層進めながら、環境にやさしい農業の拡大を推進する。
-----------	-----	---	------	---

- (注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。
 2 要領第1の1の(2)のAの(ア)から(ウ)の場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。